

科目名 水圏モニタリング特論 (2単位)

担当者氏名 塩本 明弘、中川 至純

◆学習・教育目標

水圏環境の変化や環境が水圏の生物に及ぼす影響を解明するためには広範囲にわたる連続的な長期間モニタリングが有効である。本特論では、水圏環境や水圏生物のモニタリングの方法を学ばせ、データの解析方法についても身につけさせる。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

モニタリング	水圏環境	植物プランクトン	動物プランクトン
データ解析			

◆授業の進行等について（単位制度に基づく授業の進行予定・内容）

回数	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1～5回	水圏環境のモニタリング	物理環境（水温、塩分、光など）、化学環境（酸素、栄養塩など）のモニタリングと得られたデータの解析について講義する。	様々な環境要因のモニタリングについて学ぶ。
6～8回	植物プランクトンのモニタリング	各種センサーを用いた植物プランクトンの現存量や種組成のモニタリングと得られたデータの解析について講義する。	植物プランクトンのモニタリングについて学ぶ。
9～15回	動物プランクトンのモニタリング	光や音波を用いた動物プランクトンのモニタリングと得られたデータの解析について講義する。	動物プランクトンのモニタリングについて学ぶ。

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

適宜、資料を配布する。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト）

出席、レポートで評価する。

◆その他受講上の注意事項